

水戸市の移住・定住促進の まちづくりについて

令和7年度第1回
市政モニター
提言書作成会議



OP. 重要な「人口減少対策」

P.1

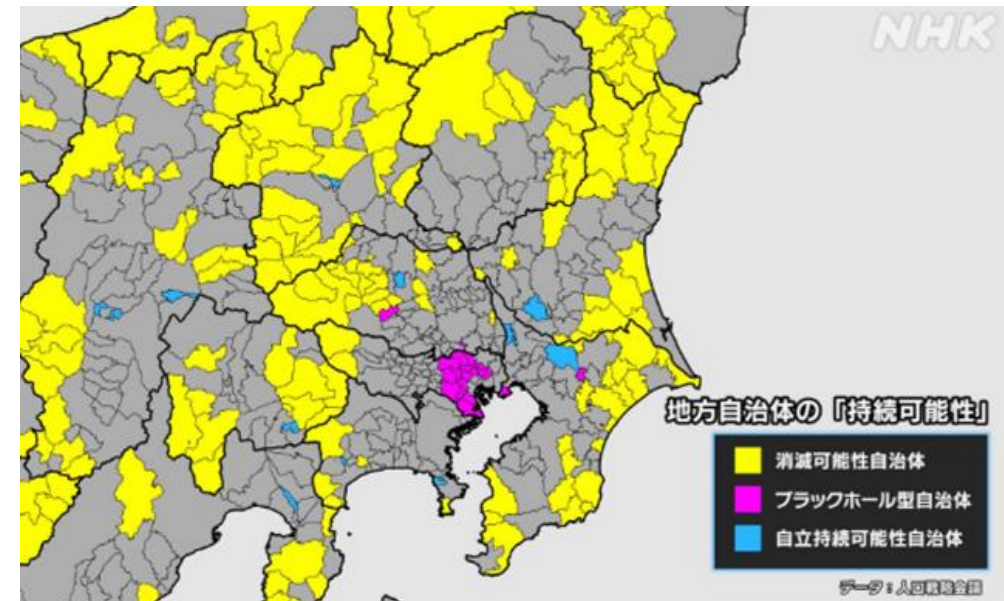


2024年4月24日全国ニュース



2024年4月24日、有識者グループ「人口戦略会議」が、国立社会保障・人口問題研究所の推計をもとに20代から30代の女性の数、「若年女性人口」の減少率を市区町村ごとに分析した結果を公表

2050年までの30年間で、若年女性人口が半数以下になる自治体は全体の4割にあたる744あり、これらの自治体は、その後、人口が急減し、最終的に消滅する可能性があるとしている。





人口減少が地方のまち・生活に与える影響（資料：国土交通白書2015）

- ①生活関連サービス（小売・飲食・娯楽・医療機関等）の縮小
→地域から産業の撤退が進み，生活に必要な商品やサービスを手に入れることが困難になるなど
- ②税収減（＋高齢化の進行による社会保障費増）による行政サービス水準の低下
→地方財政はますます厳しさを増し，行政サービスの廃止又は有料化等により，生活利便性が低下する
- ③地域公共交通の撤退・縮小
→不採算路線からの撤退や運行回数の減小が予想される
- ④空き家，空き店舗，工場跡地，耕作放棄地等の増加
→地域の景観の悪化，治安の悪化，倒壊や火災発生といった防災上の問題等が発生し，地域の魅力が低下する
- ⑤地域コミュニティの機能低下
→共助機能の低下，地域防災力の低下，住民同士の交流機会の減小によるにぎわいや地域への愛着の喪失



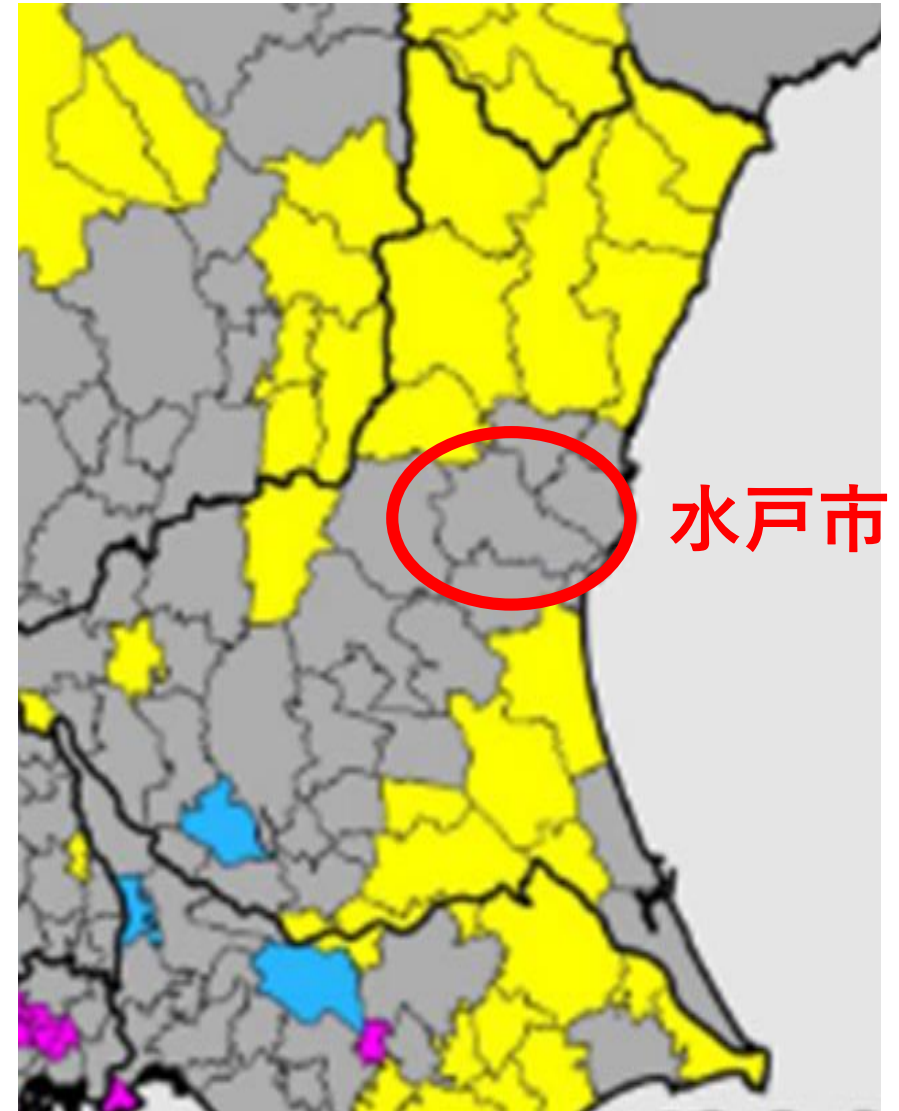
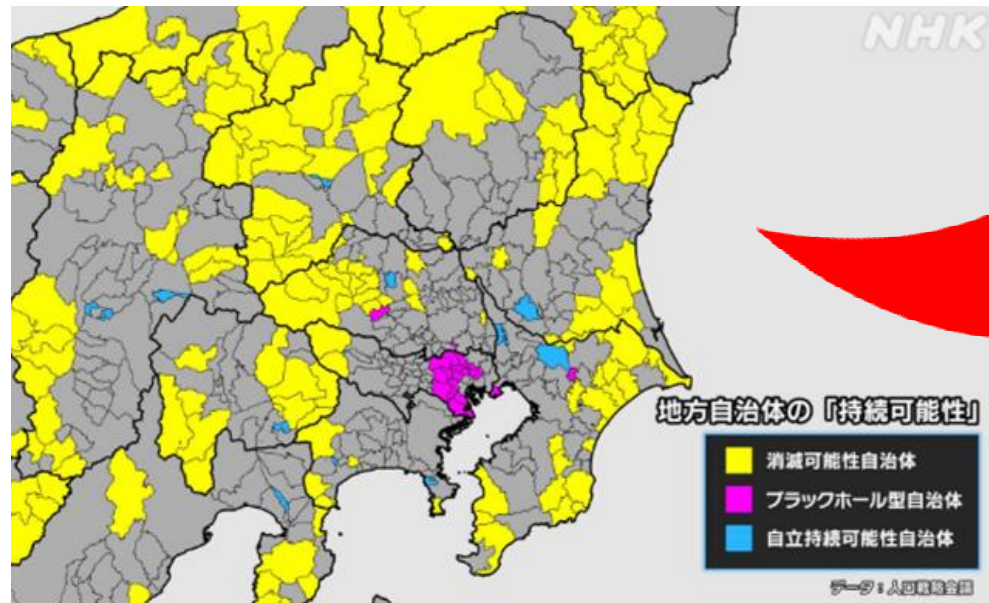
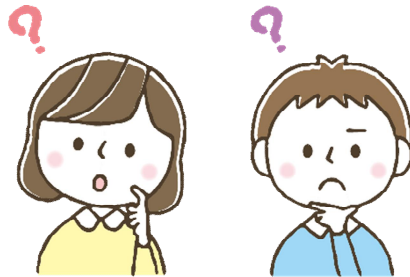
さらなる人口減少を引き起こす人口減少の悪循環

OP. 重要な「人口減少対策」

P.3



水戸市ではどうなの？

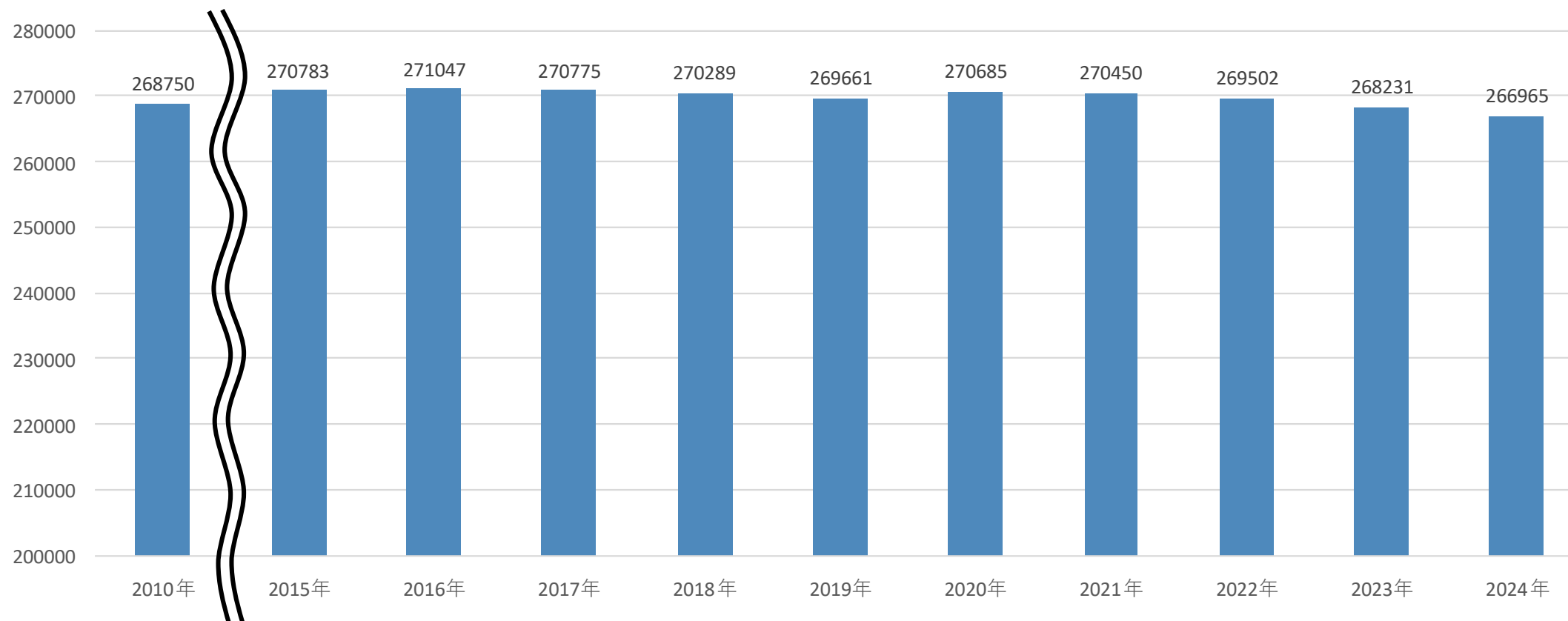


1. 水戸市における人口の現状



(1) 総人口の推移

単位：（人）



（各年10月1日現在）

（資料：水戸市統計年報から政策企画課にて作成）

※2010年，2015年，2020年は国勢調査人口，その他は国勢調査の確定値に基づく常住人口



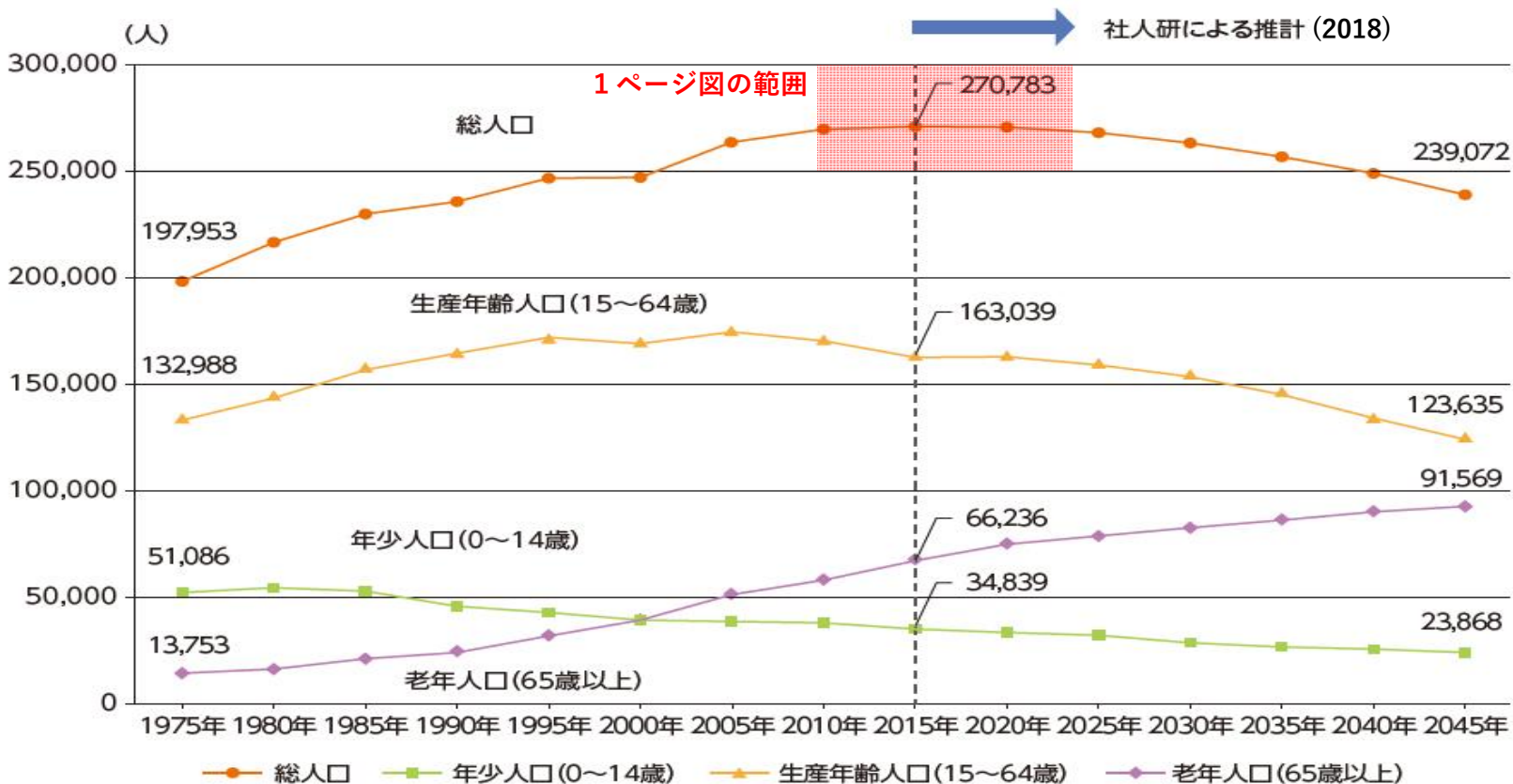
近年は基本的に横ばいが続いている。

1. 水戸市における人口の現状

P.6



(2) 総人口及び年齢3区分別人口の推移と将来推計



※1975年から2015年までの総人口は、年齢不詳を含む
(資料:「水戸市人口ビジョン(第2次)」)

総人口
243,760人



【総人口】
2015年頃をピークに減少を続け、
2050年には約10%減の推計

生産年齢人口
129,240人



【生産年齢人口】
2005年頃をピークに減少を続け、
2015年頃と比較し、2050年には
約21%減の推計

老年人口
89,145人
年少人口
25,375人



【年少人口・老年人口】
年少人口は減少傾向、老年人口
は増加傾向にあり、2000年頃には
既に年少人口は老年人口を下
回っている

2050年



出生数は下がり、死亡数は増えていく

➡ 近年の総人口は横ばいが続いているが、出生・死亡に伴う

人口動態である「自然動態」はマイナスとなっていくと予想される。

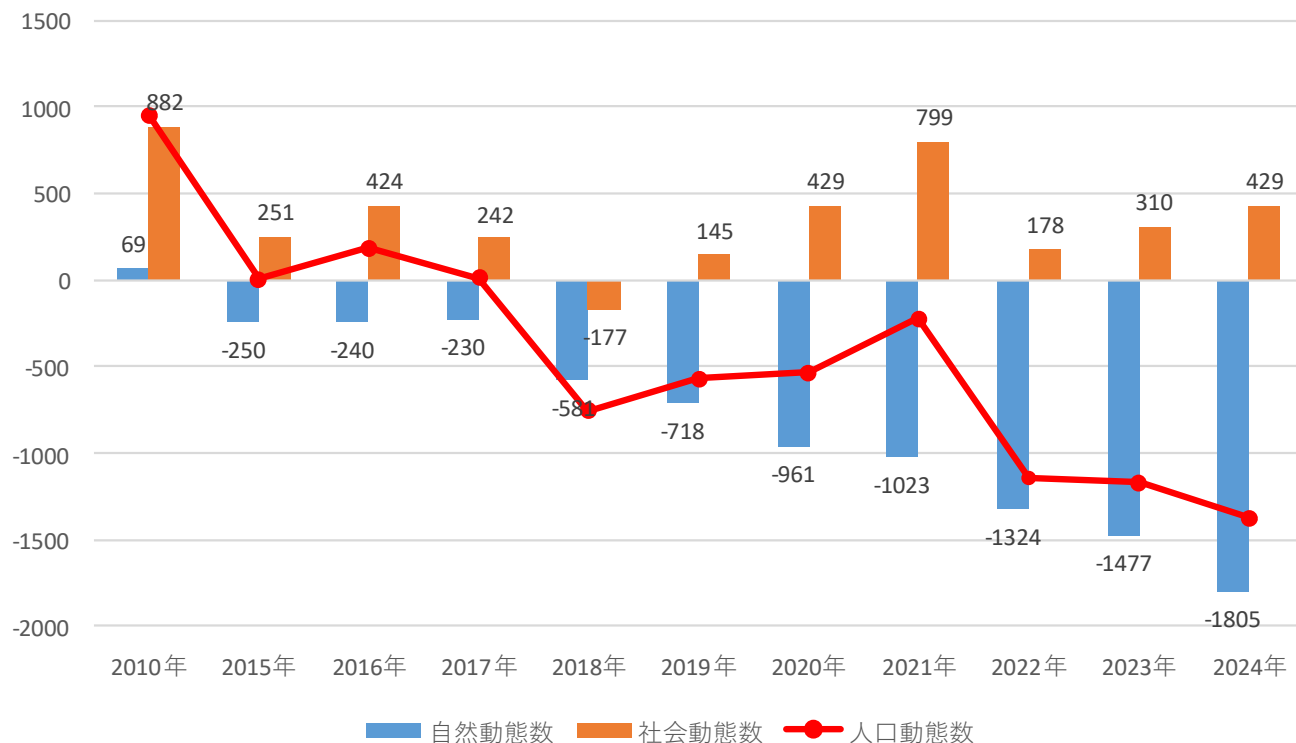
1. 水戸市における人口の現状

P.7



(3) 人口増減数の推移

単位：（人）



自然動態・・・出生・死亡に伴う人口の動き
社会動態・・・転入・転出に伴う人口の動き

➡ 水戸市では既に自然動態による人口の減少の傾向が始まっており、それを転入超過である社会動態で、できる限りカバーしている状態。
近年は社会動態で自然動態をカバーしきれず、人口が減少する状況が増えている。

人口流入の促進及び人口流出の抑制を図る

「移住・定住促進施策」が非常に重要

水戸市第7次総合計画
重点プロジェクトMission2
若い世代の移住・定住
加速プロジェクト

詳細



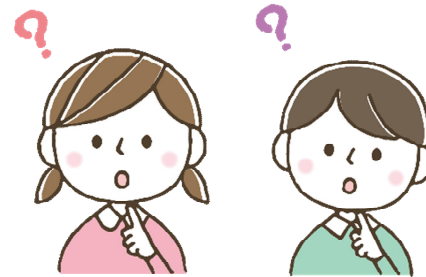
(資料：水戸市統計年報から政策企画課にて作成)

2. 若い世代の移住・定住促進に向けた戦略



P.8

若い世代の移住・定住促進ってどうすればできるの？



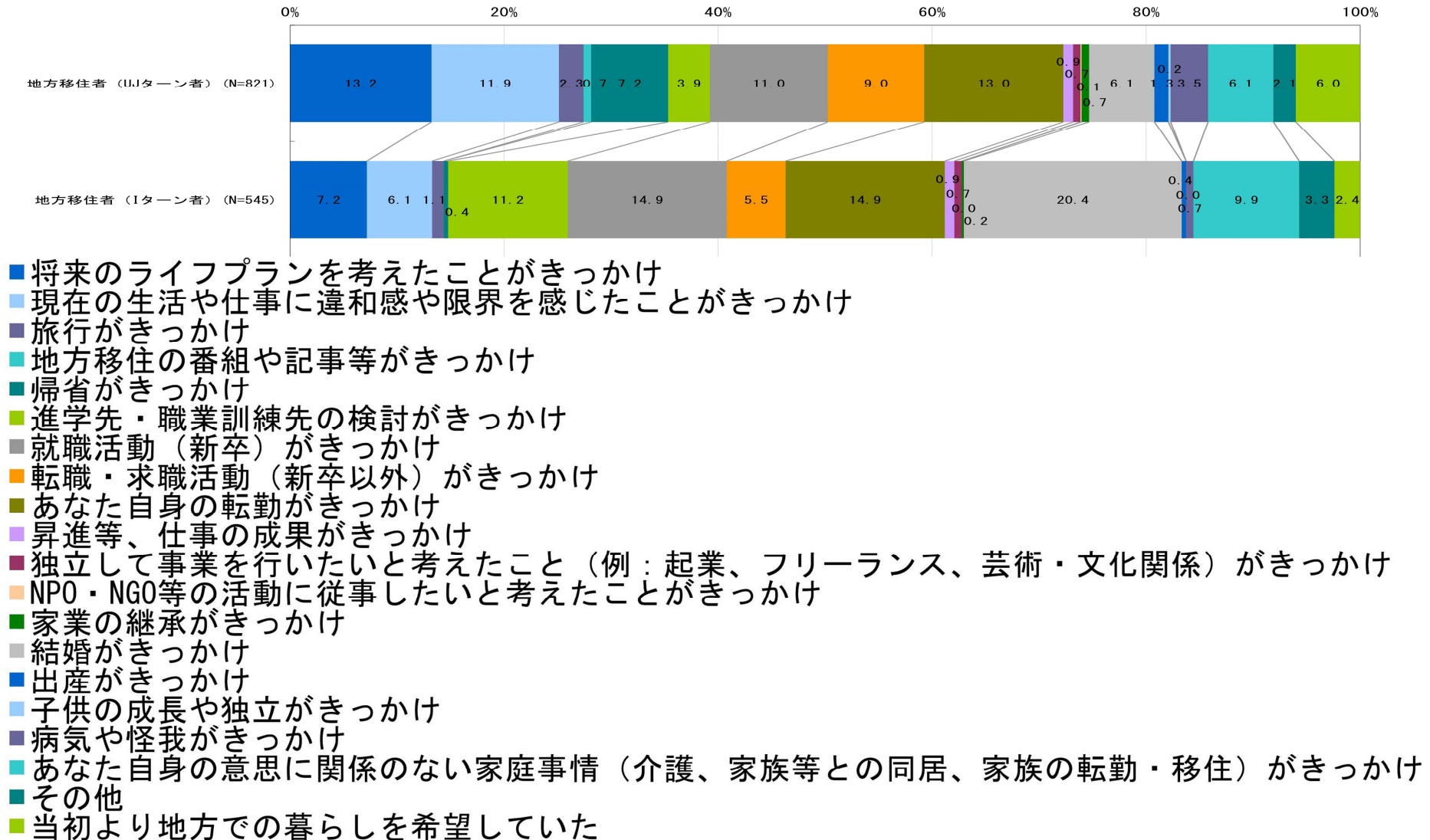
2. 若い世代の移住・定住促進に向けた戦略

P.9



○地方移住者（U J I ターン者）の意識調査（2020年度）／内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局

Q：あなたが東京圏から地方に移り住むことを最初に意識したきっかけについてお答えください

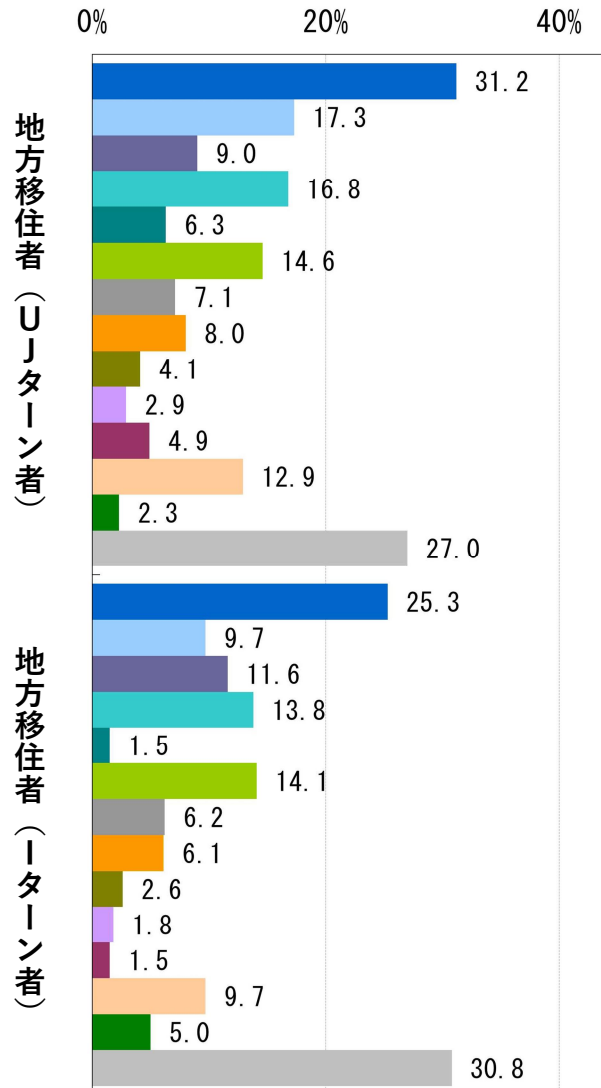


2. 若い世代の移住・定住促進に向けた戦略



○地方移住者（U J I ターン者）の意識調査（2020年度）／内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局

Q：あなたが地方に住むという決断をした際に、影響を与えた要素をすべてお答えください



- 希望する職種・業種の仕事が見つかったこと
- 納得できる給与水準の仕事が見つかったこと
- 希望する進学・職業訓練先が見つかったこと
- 快適な暮らしが見込まれる住居があると分かったこと
- 移住費用や生活費用への行政の支援制度等の存在
- 生活利便性（買い物、交通利便性など）が満足できる水準であることが分かったこと
- 余暇・文化を楽しむ場所や機会の存在
- 子育て環境（保育、教育、子育て支援など）の充実度
- 医療・介護環境（医療機関、介護施設など）への不安が払しょくされたこと
- 災害対策・治安に関する不安が払しょくされたこと
- 帰省や仕事、イベント・ボランティア等で定期的に地域に訪問し魅力を感じたこと
- 家族・親族・友人・知人からの説得
- その他
- 特になし

2. 若い世代の移住・定住促進に向けた戦略



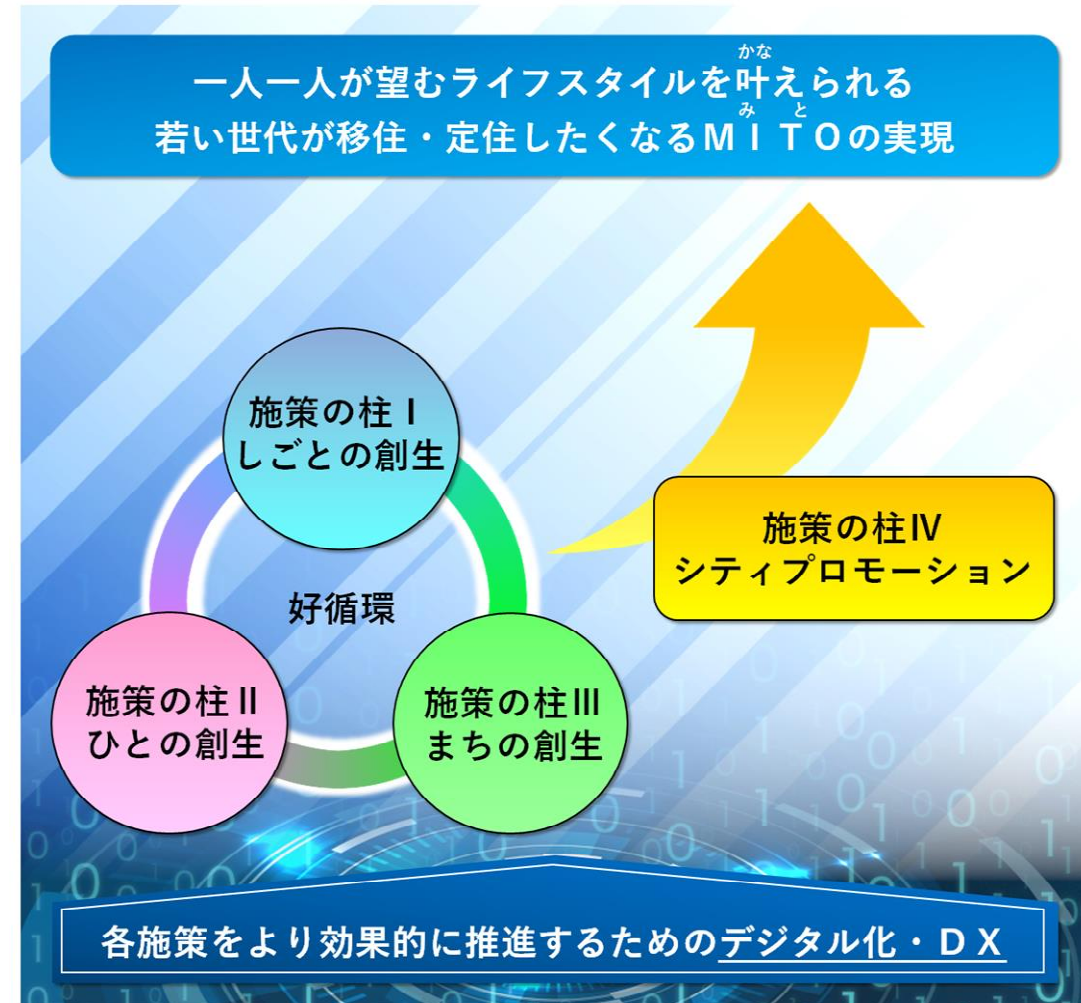
P.11

若い世代の地方移住のきっかけや決断には、
仕事、生活の利便性、娯楽、
子育て環境、人とのつながりなど、
一人一人の個性や状況に応じて、
様々な要因が影響している。



若い世代の移住促進に向け、
単一的な分野に限らず、
水戸の魅力を幅広く高め、
それをより多くの若い世代に
伝えていく。

○若い世代に選ばれるMITOづくり総合戦略
ーデジタル×まち・ひと・しごと創生（第3次）ー
全体のイメージ

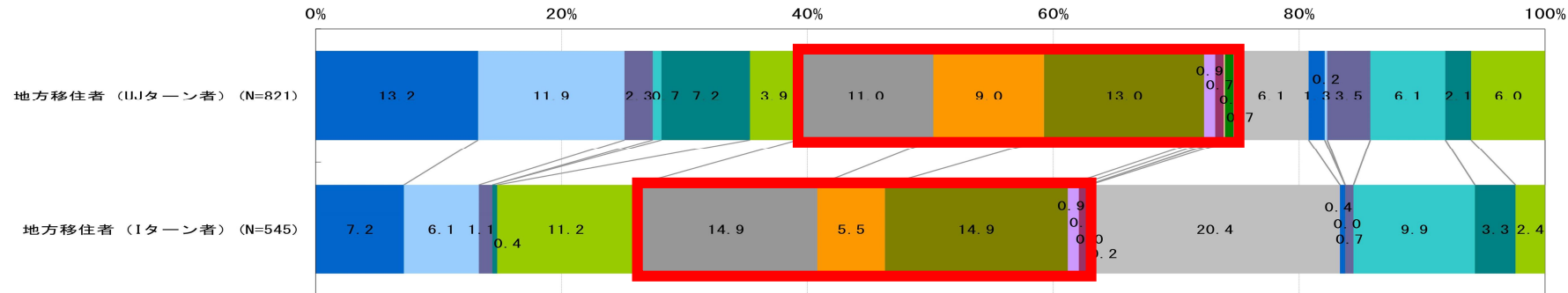


2. 若い世代の移住・定住促進に向けた戦略



○地方移住者（U J I ターン者）の意識調査（2020年度）／内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局

Q：あなたが東京圏から地方に移り住むことを最初に意識したきっかけについてお答えください



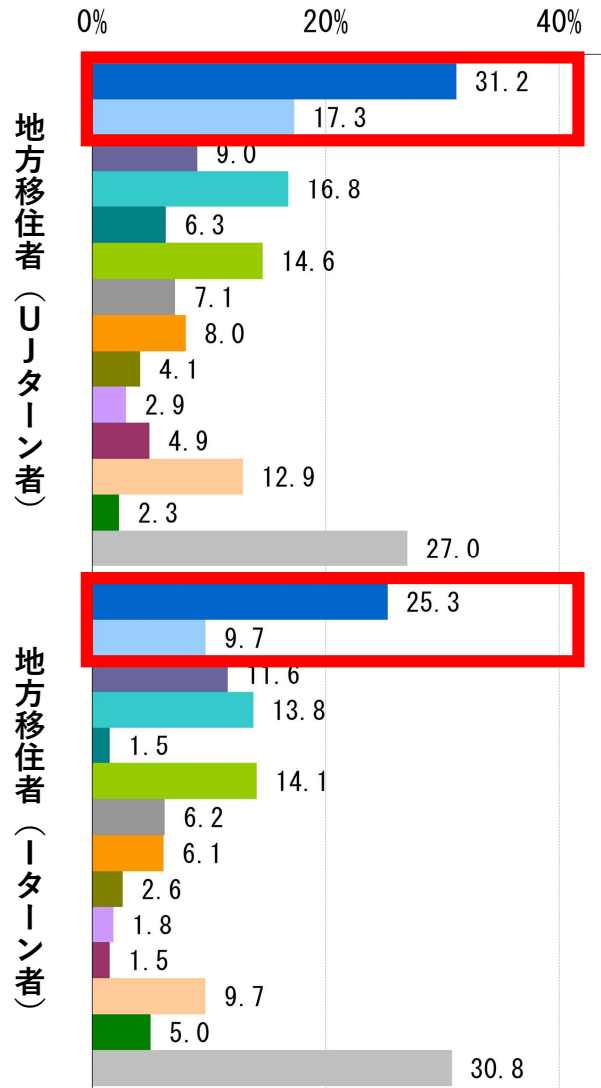
- 将来のライフプランを考えたことがきっかけ
- 現在の生活や仕事に違和感や限界を感じたことがきっかけ
- 旅行がきっかけ
- 地方移住の番組や記事等がきっかけ
- 帰省がきっかけ
- 進学先・職業訓練先の検討がきっかけ
- 就職活動（新卒）がきっかけ
- 転職・求職活動（新卒以外）がきっかけ
- あなた自身の転勤がきっかけ
- 昇進等、仕事の成果がきっかけ
- 独立して事業を行いたいと考えたこと（例：起業、フリーランス、芸術・文化関係）がきっかけ
- NPO・NGO等の活動に従事したいと考えたことがきっかけ
- 家業の継承がきっかけ
- 結婚がきっかけ
- 出産がきっかけ
- 子供の成長や独立がきっかけ
- 病気や怪我がきっかけ
- あなた自身の意思に関係のない家庭事情（介護、家族等との同居、家族の転勤・移住）がきっかけ
- その他
- 当初より地方での暮らしを希望していた

2. 若い世代の移住・定住促進に向けた戦略



○地方移住者（UJIターン者）の意識調査（2020年度）／内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局

Q：あなたが地方に住むという決断をした際に、影響を与えた要素をすべてお答えください



■ 希望する職種・業種の仕事が見つかったこと

■ 納得できる給与水準の仕事が見つかったこと

■ 希望する進学・職業訓練先が見つかったこと

■ 快適な暮らしが見込まれる住居があると分かったこと

■ 移住費用や生活費用への行政の支援制度等の存在

■ 生活利便性（買い物、交通利便性など）が満足できる水準であることが分かったこと

■ 余暇・文化を楽しむ場所や機会の存在

■ 子育て環境（保育、教育、子育て支援など）の充実度

■ 医療・介護環境（医療機関、介護施設など）への不安が払しょくされたこと

■ 災害対策・治安に関する不安が払しょくされたこと

■ 帰省や仕事、イベント・ボランティア等で定期的に地域に訪問し魅力を感じたこと

■ 家族・親族・友人・知人からの説得

■ その他

■ 特にない

2. 若い世代の移住・定住促進に向けた戦略

P.14



全体的な考え方

若い世代の地方移住のきっかけや決断には、
仕事、**生活の利便性**、**娯楽**、
子育て環境、**人とのつながり**など、
一人一人の個性や状況に応じて、
様々な要因が影響している。

若い世代の移住促進に向け、
単一的な分野に限らず、
水戸の魅力を幅広く高め、
それを**より多くの若い世代に**
伝えていく。

重点的な考え方

その中でも、特に**仕事**の影響大

+

ニーズや数がある程度まとまっているタイミング

高校生の大学進学

大学生の就職活動

若い世代の移住促進に向け、
魅力を感じる多様な働く場の創出
に優先的に取り組むとともに、
それを、今後多くが就職を控えた
大学生を対象として伝えていく。

3. 若い世代の移住・定住促進に向けた取組

P.15



若い世代が魅力を感じる多様な働く場の創出

事業名	事業概要
創業・スタートアップ支援の充実	- 起業家精神を育む創業機運の醸成 - 創業に関する包括的支援の推進 - 多様なニーズを踏まえた創業支援拠点の機能強化
中小企業の成長支援	- 中小企業の経営革新・経営基盤強化支援 - リスキリングやリカレント教育の支援による人材の育成 - 円滑な事業承継の促進 - D X 推進等による企業の生産性向上支援
企業立地の促進	- 企業誘致活動の推進 - サテライトオフィス等誘致活動の推進 - 新たな誘致先用地の確保
ライフスタイルにあわせた働きやすい環境づくり	- 誰もが働きやすい環境づくり - 子育て世帯が安心して働ける環境づくり - 女性が活躍できる環境づくり - 仕事と介護を両立できる環境づくり

第3次産業中心の街！



事業所数約13,000ヶ所！ 創業・就農サポートも充実！



令和7年度

企業誘致・創業支援室
誕生



取組をさらに加速

3. 若い世代の移住・定住促進に向けた取組



P.16

大学生に水戸の魅力的な仕事を伝えるシティプロモーション

例えば・・・



特徴

- ・ 離島を除く関東地方唯一のふるさとワーキングホリデー
- ・ 働く先が田舎の仕事じゃない大卒後の現実的な就職先
- ・ 受け入れる仕事場は参加者を積極的に雇用したい

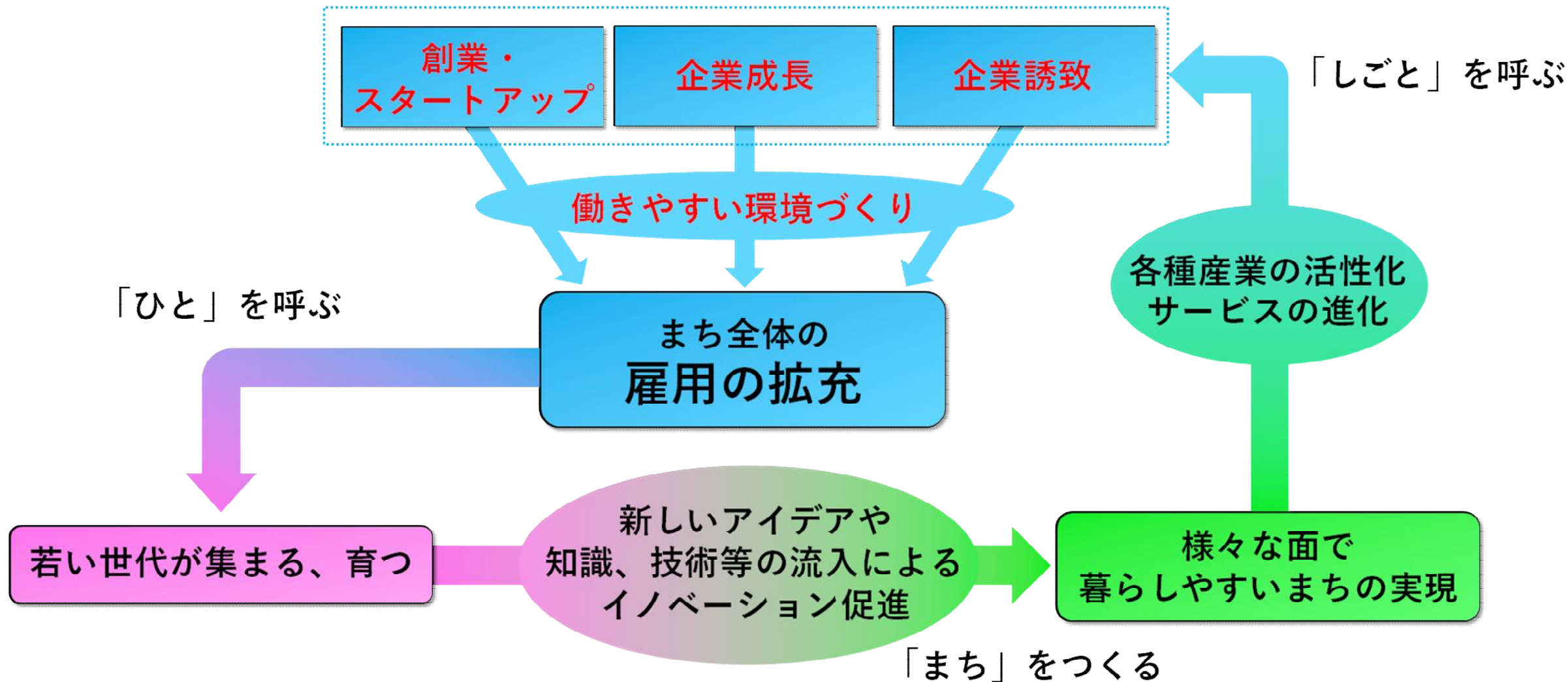


内定直結型

4. 目指す効果



- 「若い世代が魅力を感じる多様な働く場の創出」を起点としたまち・ひと・しごとの好循環





いばらき県央地域移住・定住促進協議会

- ▷ 令和4年5月31日 発足
- ▷ 各市町村における移住・定住戦略とは別に、
県央地域全体の移住・定住促進を図る事業を展開

いばらき県央地域の暮らしのPRコンセプト

教育・医療機関等が集積する中核市



海から山まで豊かで多彩な自然



域外とのアクセスも整い、
買い物にも困らない利便性の高い暮らし

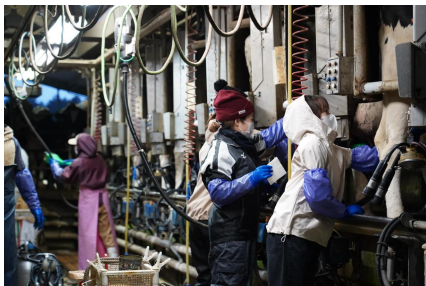


理想のライフスタイルを実現しながら
安心の都市インフラによる
不自由のない生活ができる

シームレスな一体の生活圈



▶ いばらき県央地域移住・
定住促進協議会ホームページ
「#いばらきどまんなかライフ」





ご清聴ありがとうございました

